



強く正しく明るく

校訓「強く 正しく 明るく」 教育目標「ふるさとを愛し、夢の実現に向かって考動する児童の育成」
目指す児童像「強い子 正しい子 明るい子」

今こそあたためたい「子育て四訓」

令和 4 年度の学校だよりでもご紹介しましたが、きっと皆さんもこれまでどこかで耳にされたことがあるのではないのでしょうか。

★子育て四訓★

1. 乳児の時は、肌身離さず
2. 幼児の時は、肌を離して手を離さず
3. 少年の時は、手を離して目を離さず
4. 青年の時は、目を離して心を離さず

子どもの発達年齢に応じた関わりを端的に表したこの言葉。私たちの八幡っ子は低学年が「2」、中高学年が「3」に当てはまるといったところでしょうか。子どもに限らず大人であっても自分のことを気にかけてくれる人が身近にいることは有り難く、心強いものです。「子育て四訓」心に留めておきたい言葉です。

先取あいさつ・なかよく協力・ルールの遵守 ～がんばった！5年生 集団宿泊教室～



5月22日(水)～23日(木) 菊池少年自然の家で集団行動や屋外活動を通して、なかよく協力することや命の大切さ、ルールの遵守などについて学びを重ねてきた5年生。1日目の観音岳冒険コース山登りでは、友だちの手を引いたり背を優しく押してサポートしたりするなどの姿が見られたようです。ナイトゲーム(ウォークラリーのような活動)では、手を取り合い「〇班、がんばるぞ～！」の勇ましいかけ声で、活動がスタート。懐中電灯の明かりを頼りに、励まし合って活動していました。

私からの2日間の宿題は、「寝食を共にしながら、自分や友だちの素敵なおところやよさをたくさん見つけてくること」でした。自分や人のよさに気づくには、豊かな感性や観察力、気づく力が必要です。5年生の子どもたちが、どんな発見をしたのか、次号以降の学校だよりでも紹介していきますね。



雑談の効用～実は+になる?! 雑談タイム～

職場や教室等で何気なく交わされる雑談。雑談は信頼関係の構築、チームワークの強化、ストレス軽減、そしてコミュニケーションの活性化など様々な効果をもたらすそうです。ビジネスの世界では、多様な視点からの意見や考えを自由に出していく「アイスブレイキング」で着想を得て、新しいアイデアが商品化されることが多くあるそう。仕事やテーマに関係のない話から、いつの間にか仕事に繋がるよい発想になることもあるんですね。

雑談上手になるには、聞き上手になること、相手の話に興味を持って質問すること、非言語コミュニケーション(うなずきやアイコンタクト、笑顔など)等を意識するとよいようです。子育てにも生かせそうですね。

カルチャースポーツセンターで体力テスト

2月末に完成の新屋内運動場(体育館)は、現在渡り廊下建設のため使用再開は7月5日からです。

そのため、本年度の体力テストはカルチャースポーツセンターを会場



に実施しました。今年は、子ども一人一人にカードを用意し、昨年度の自分の記録と今年の自己目標を記入するなど事前に意識付けを十分に行いました。

文部科学省が全国の小学5年生及び中学2年生を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、「毎日の朝食が体力向上の好循環を生む」「家の人と運動やスポーツをする子ほど、体力合計点が高い」「運動する子としない子の二極化が明らかになった」などが述べられています。

すきま時間を利用して、お子さんとキャッチボールやウォーキングなど、軽い運動から取り組み、体を動かす習慣づくりを始めませんか。

5月23日 スイカ寄贈式

JAかもとより今年も立派なスイカを11玉もいただきました。寄贈式では、児童を代表し給食委員長の塚本あさひさんが、はきはきとお礼の言葉を述べ、感謝の手作りカードを渡しました。



その後、1年生が一人一人実際にスイカを抱えて重さを体感。甘い甘いスイカは、早速24日の給食でおいしくいただきました。

【お知らせ】5月31日は引き渡し訓練です。